

サービス改善計画書

策定日：平成 31 年 3 月 1 日
 事業・サービス名： 認定こども園
 施設・事業所名： 延命こども園

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責任者	備考（必要な予算等）
ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している	C	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にした体制はよい	今のところ、今後もボランティアを受け入れ予定はない		園長	
安全・安心・福祉サービスの提供を目的としてリスクマネジメント体制が構築されている	B	細かい部分にリスクマネジメント体制は構築されている	園児の安全・安全のため、リスクマネジメント体制を構築する	31.3～	園長	
子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びと豊かにする保育を展開している。	B	保育者主体の保育もあるため子ども達の主体的な活動をどうしたら保育費で支えたいか	子ども達の主体的な活動をどう保育費で支えたいか職員全員で理解する。先ず、研究費を積んでいく	31.3～	園長	
保育士等が主体的に保育実践の振り返りを行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている	B	毎年自己評価はしているが、サービス改善計画の実行に向けた話し合いの機会や取り組みに欠けている	集計結果から、職員1人1人が保育実践の改善や専門性の向上に努めている。そのためには話し合いの機会や共通理解の場を多く持つ。	31.3～	園長	
子どもと地域との交流を促すための取組を行っている	B	地域のイベントや催しの積極的な参加は、地域との交流として職員には理解・周知できていない	秋園のとっている活動も、地域との交流を促すための一環であることと、しっかりと周知する	31.3～	園長	